

(平成29年 1月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	1月の水産物の総入荷量は、前年同月に比べると、全般に漁獲不振であったことや、需要の低下がみられ、鮮魚、冷凍魚、加工水産物全てで入荷量が下回り、全体では7%下回った。 総取扱金額は、前年同月に比べると、鮮魚は前年並みであったが、冷凍魚は増加し、加工水産物は減少となったことから、全体として2%下回った。
(区分別の動向) 鮮 魚	1月の鮮魚の入荷量は、前年同月と比べ7%下回ったことから、平均単価は7%上回った。 品目別には、よこわ、まあじ、天然はまちが好漁で入荷が増加し、価格は値下がりした。するめいか、あまだい、たら等は入荷が下回ったため、価格は値上がりした。 2月になると、春を呼ぶ魚の登場となる。「しらうお」や「のれそれ(あなごの稚魚)」等が入荷し始め、いいだこも卵を持ち旨味を増す時期となる。また、冬の時期に多い鍋料理の具材となるたら、さわら、あんこう等も、引き続き美味しい時期である。 3月3日は桃の節句「雛祭り」となる。雛祭りに食されるはまぐりは貝殻が他のはまぐりの貝殻とは決して合わないことから、仲の良い夫婦を表し、一生、一人の人と添い遂げるようにという願いが込められた縁起物である。
冷 凍 魚	1月の冷凍魚の入荷量は、前年同月と比べ5%下回ったことから、平均単価は10%上回った。 品目別には、冷えびは、値上がりしたため、低調な荷動きとなり、入荷は下回った。冷銀さけは、生産量の減少から価格が値上がりしたが、荷動きが好調で、入荷は上回った。 2月の輸入冷凍魚は、引き続き海外の需要が旺盛であるため、価格は現状のまま続くことが予想される。冷するめいか、冷さばは、原料の供給が今年の秋以降の漁獲待ちとなり、当分の間少ない状況が続く見込みである。

加 工 水 産 物	1月の加工水産物の入荷量は、前年同月と比べ、6%下回ったが、荷動き悪く、平均単価は2%下回った。 品目別には、塩さば、開干さんま、丸干しししゃも、干水かれいは入荷が減少したため、価格は値上がりとなった。すけそうこは入荷が減少したが、荷動き悪く、価格は値下がりした。また、ちりめんは端境期を迎え、水揚げが減少していることから入荷が少ないが、時期的に良品も少ないため、価格は値下がりした。輸入ししゃもは主産地のノルウェー、アイスランドに漁獲不振により、価格は値上がりしている。 2月3日の節分は、塩いわしを食べる風習がある。「節分いわし」はいわしを焼くと出る激しい煙と臭いで邪気を追い払うと言われているので、恵方巻きとあわせて食べて頂きたい。
-----------	--

※生鮮魚：鮮魚，貝類，淡水魚

※冷凍魚：冷凍魚（鯨肉を除く）

品 目	市 況 の 概 要
(鮮魚主要品目)	
ま あ じ	長崎，京都で水揚げされたものの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ１２９％上回ったため，価格は４２％下回った。
ま い わ し	三重，千葉で水揚げされたものの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ８％下回ったため，価格は１２％上回った。
さ ば	福岡，千葉で水揚げされたものの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ１０％下回ったが，大型サイズが少なく価格は９％下回った。
す る め い か	長崎，山形で水揚げされたものの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ７９％下回ったため，価格は４５％上回った。
太 物	入荷量は前年同月と比べ，めばちまぐろが５１％下回った影響で，太物類の総入荷量は６％下回ったことから，価格は１１％上回った。
よ こ わ	長崎，高知で水揚げされたものの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ４４％上回ったため，価格は１５％下回った。
ぶ り	鹿児島，長崎で水揚げされたものの主体の入荷で，入荷量は前年同月並みであったことから，価格は前年並みであった。
(冷凍魚主要品目)	
冷 さ ば	国内外ともに原料となる大型サイズの漁獲が少なく，入荷量は前年同月と比べ３８％下回ったため，価格は１３％上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月と比べ６０％下回ったため，価格は７６％上回った。
(加工水産物主要品目)	
塩 さ け	入荷量は前年同月と比べ，塩銀さけが７％上回ったことから，塩さけの総入荷量は前年同月と比べ５％上回ったが，価格はチリ産塩銀さけの需要が強く，塩さけ類全体では４％上回った。

すけそうこ	入荷量は前年同月と比べ４０％下回ったが，需要の低下があり，価格は５％下回った。
-------	---